

報道関係者各位
<ニュースレター>

有限会社天辺ダッシュカンパニー
2026年1月吉日

筑波山神社の境内で新年の門出を祝う「福来ラーメン」 — 6年ぶりに復活、つくばの食文化を一杯に込めた年賀らーめんを無料提供 —



有限会社天辺ダッシュカンパニー（本社：茨城県つくば市／代表取締役：芝山健一）は、2026年1月1日、筑波山神社の境内にて『めで鯛！福が来る！年賀ラーメン「鯛だし福来らーめん」ふるまい』を約6年ぶりに実施しました。

本企画は、つくばご当地ラーメン開発プロジェクトが主体となり、2016年よりスタートした地域連携の取り組みです。筑波山麓の特産品である「福来みかん」とご当地ラーメンを掛け合わせ、「年越しそば」に代わる新たな文化として、“福が来る年賀ラーメンを食べる”という新年の風習をつくばに根付かせたいという想いから始まりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、人が集う機会そのものが制限され、本企画もやむを得ず中止。今回は、そうした状況を経ての約6年ぶりの復活開催となりました。



当日提供した「鯛だし福来らーめん」は、宇和島産の鯛を贅沢に使用したスープと、筑波山名産・福来みかんの皮を麺に練り込んだ「福来麺」を組み合わせた、年始にふさわしい一杯です。この福来麺は、新年の節目に筑波山神社という特別な場で提供された縁起担ぎの麺で、「福が来る」「めで鯛」という二つの縁起を掛け合わせ、“福来(ふくれ)ラーメン”として提供しました。

※ハーフサイズでの提供とし、先着250杯限定で実施。



当時は鯛だし福来らーめんを求め、多くの方が並んでいました。

当時は深夜0時からの提供にもかかわらず、初詣客や地域住民が次々と足を止め、境内は大きにぎわいを見せました。用意された250杯は約2時間ほどで配布終了し、「新年にぴったり」「身体が温まった」「縁起が良さそう」といった声が多く聞かれました。

“年始にラーメンを食べる”という体験が、新たな新年の楽しみ方として、自然な形で地域に受け入れられた一日となりました。

■実施概要

- ・実施日:2026年1月1日 0:00より配布開始
- ・内容:めで鯛!福が来る!年賀ラーメン「鯛だし福来らーめん」ふるまい
- ・使用麺:筑波山名産・福来みかんの皮を練り込み、
新年にあたり筑波山神社でお祓いを行った「福来麺」
- ・提供数:先着250杯(※なくなり次第終了)
- ・主催:つくばご当地らーめん開発プロジェクト
- ・協力:(一社)つくば観光コンベンション協会 ほか
- ・プロデュース・サポート:活龍(有限会社天辺ダッシュカンパニー)

■会社概要

- ・会社名:有限会社天辺ダッシュカンパニー
- ・所在地:茨城県つくば市筑穂1-13-4
- ・代表者:芝山健一
- ・設立:2003年
- ・事業内容:製造卸／外食・飲食サービス
- ・URL:<http://teppen-dash.co.jp/>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

有限会社天辺ダッシュカンパニー 広報担当:金井辰徳

TEL:029-886-9720

MAIL:kanai@teppen-dash.co.jp